

これからの選手強化事業の方針

社団法人日本ライフル射撃協会

選手強化委員会

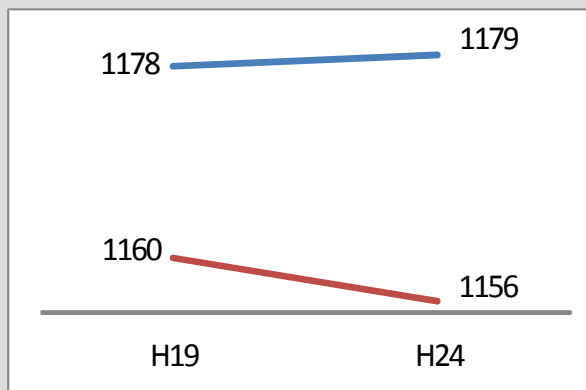
平成25年2月

ライフルの過去5年間(平成19年～24年)の強化実績 ①

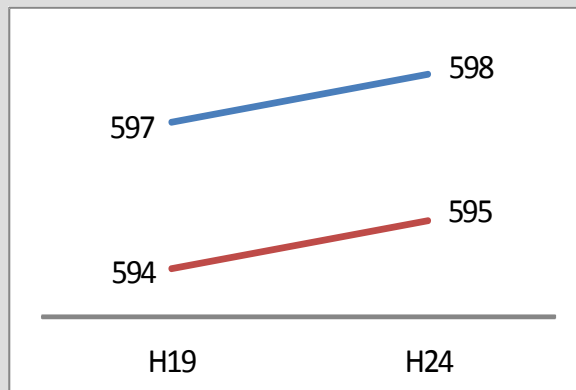
第1位～第3位までの競技得点の合計点平均
(小数点以下四捨五入)

ISSF WC Munich (H22はWCH)
全日本選手権

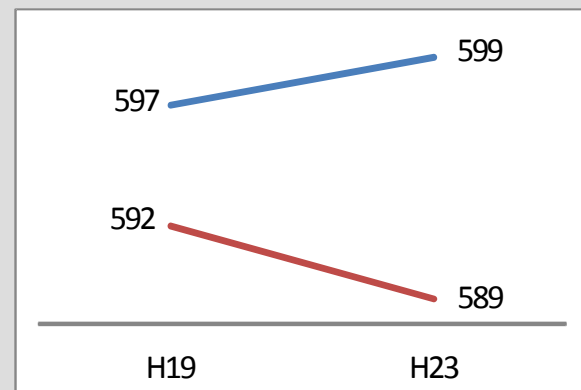
50m3×40M



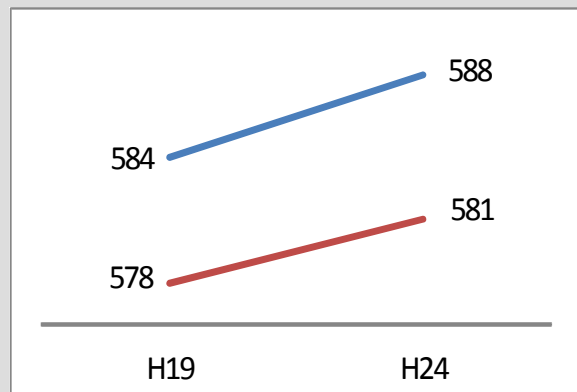
50mP60M



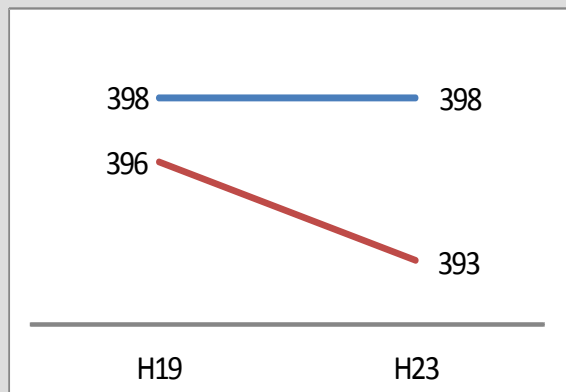
10mS60M



50m3×20W



10mS40W

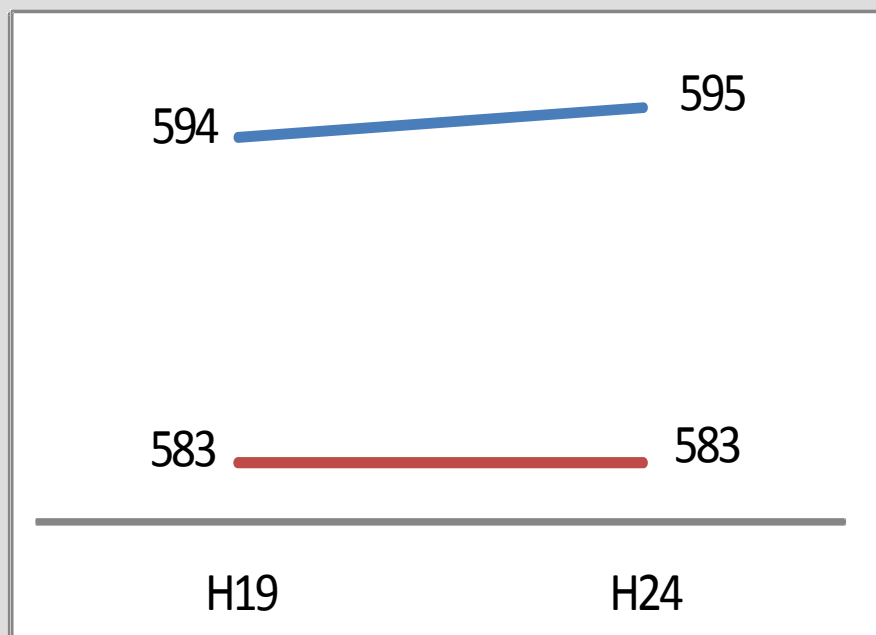


ライフル(ジュニア)の過去5年間(平成19年~24年)の強化実績 ②

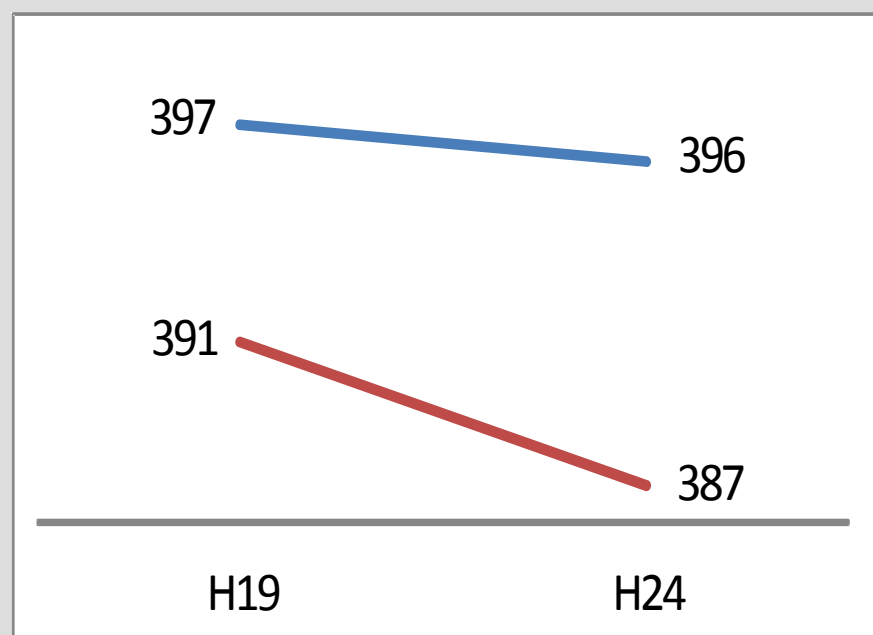
第1位~第3位までの競技得点の合計点平均
(小数点以下四捨五入)

International AirGun (Jr)(Munich)
全国高等学校選手権

10m S60MJ



10m S40WJ

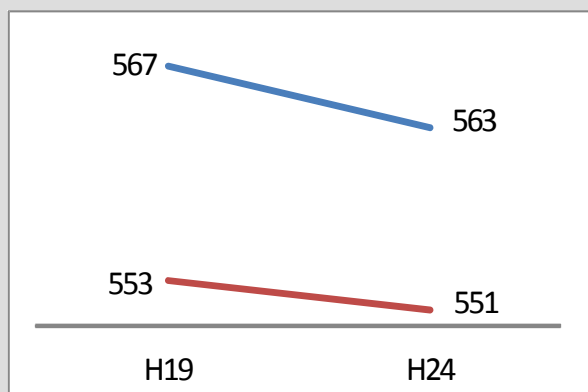


ピストルの過去5年間(平成19年～24年)の強化実績 ③

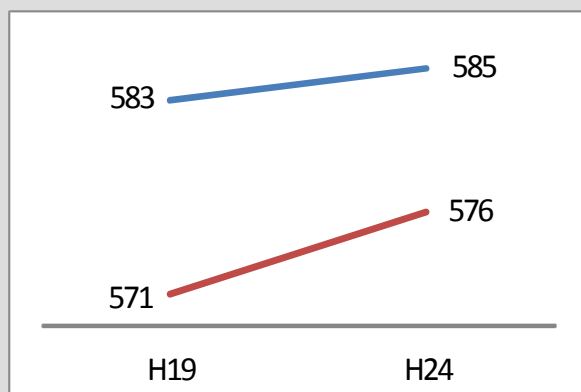
第1位～第3位までの競技得点の合計点平均
(小数点以下四捨五入)

ISSF WC Munich (H22はWCH)
全日本選手権

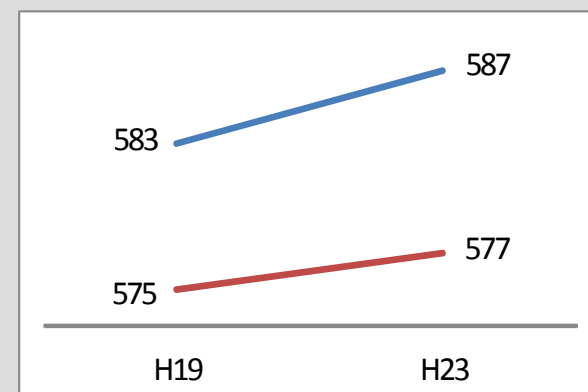
50m Pistol 60M



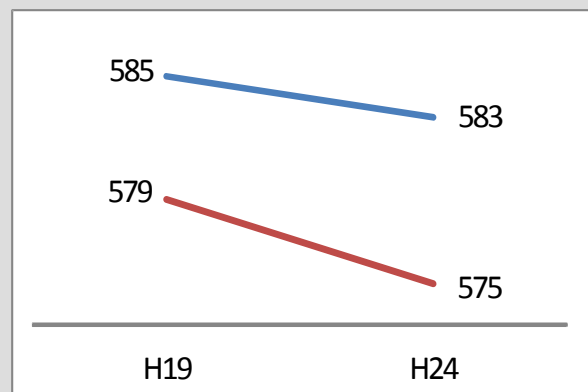
RFP 60M



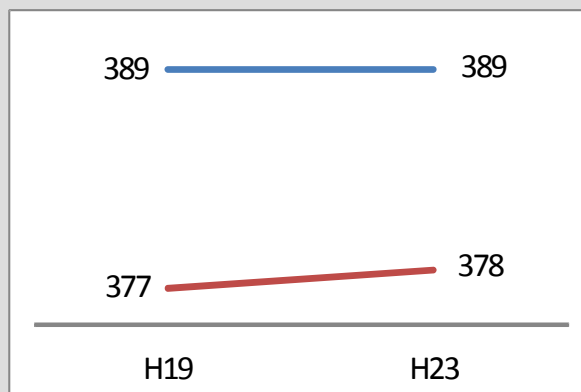
10m Air Pistol 60M



25m Pistol 60W

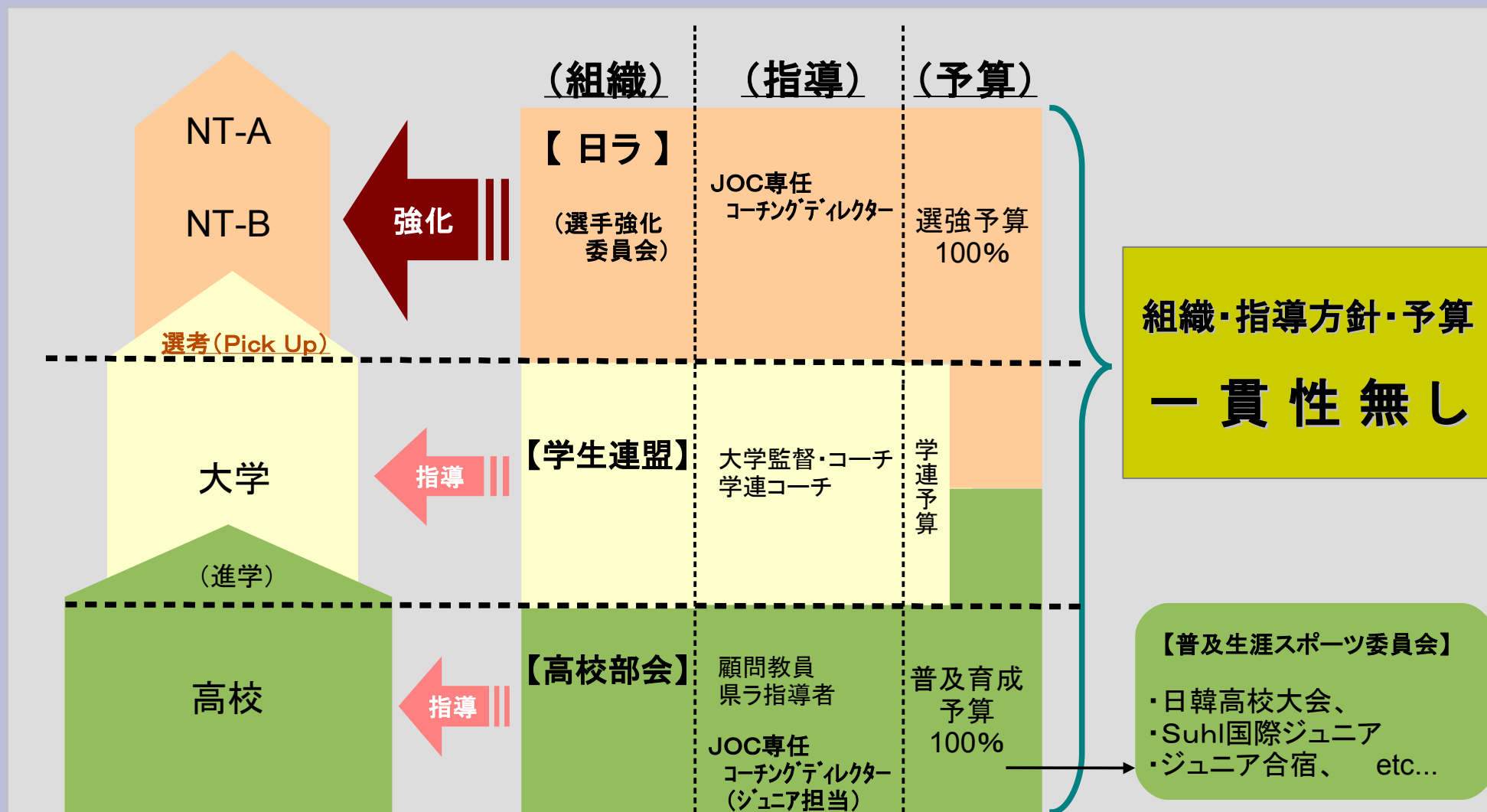


10m Air Pistol 40W



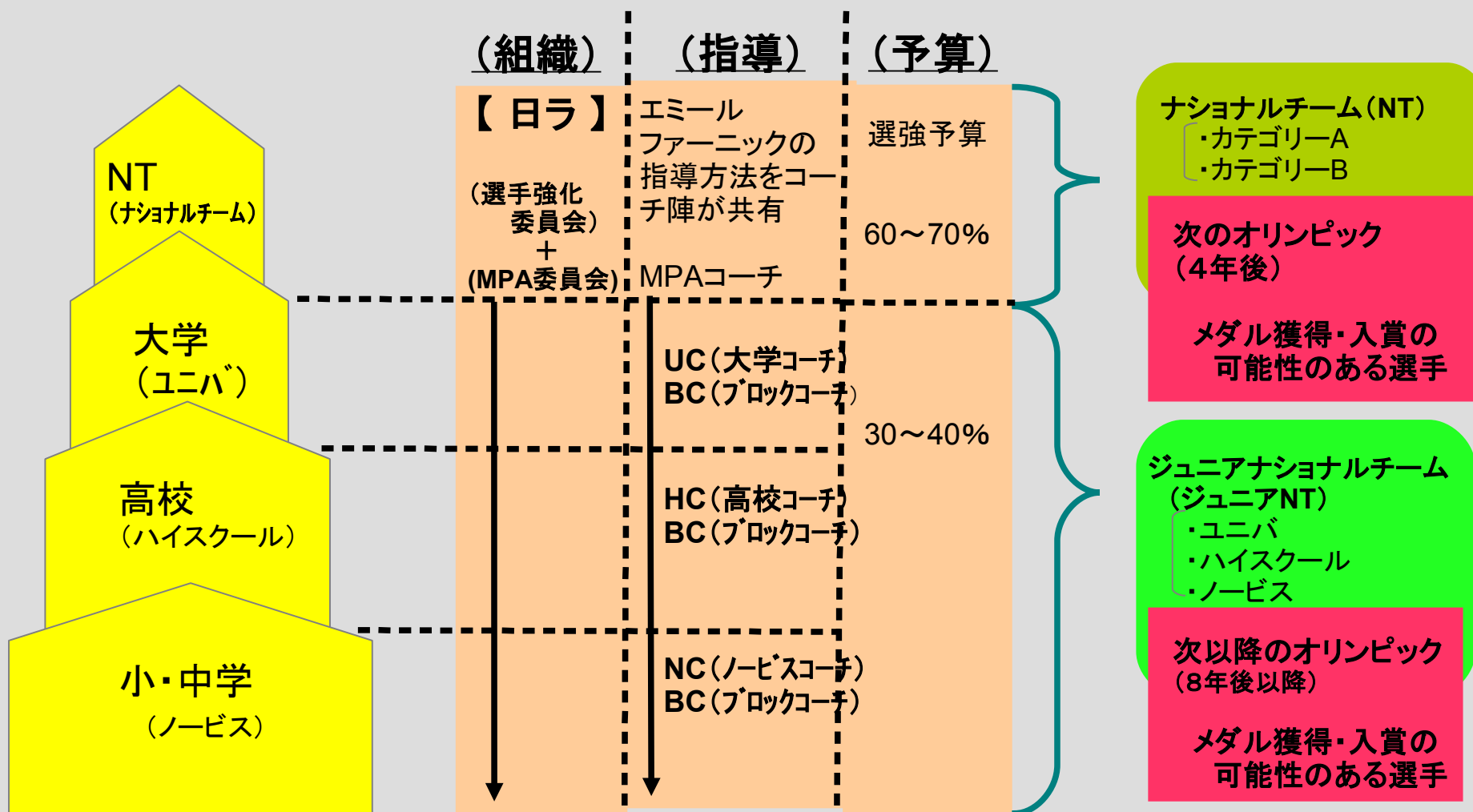
従来の選手強化の仕組み

(TOP、大学、高校 の 分断構造)



これからの選手強化の仕組み (Stage①)

(小中学の導入と一貫性の構築)

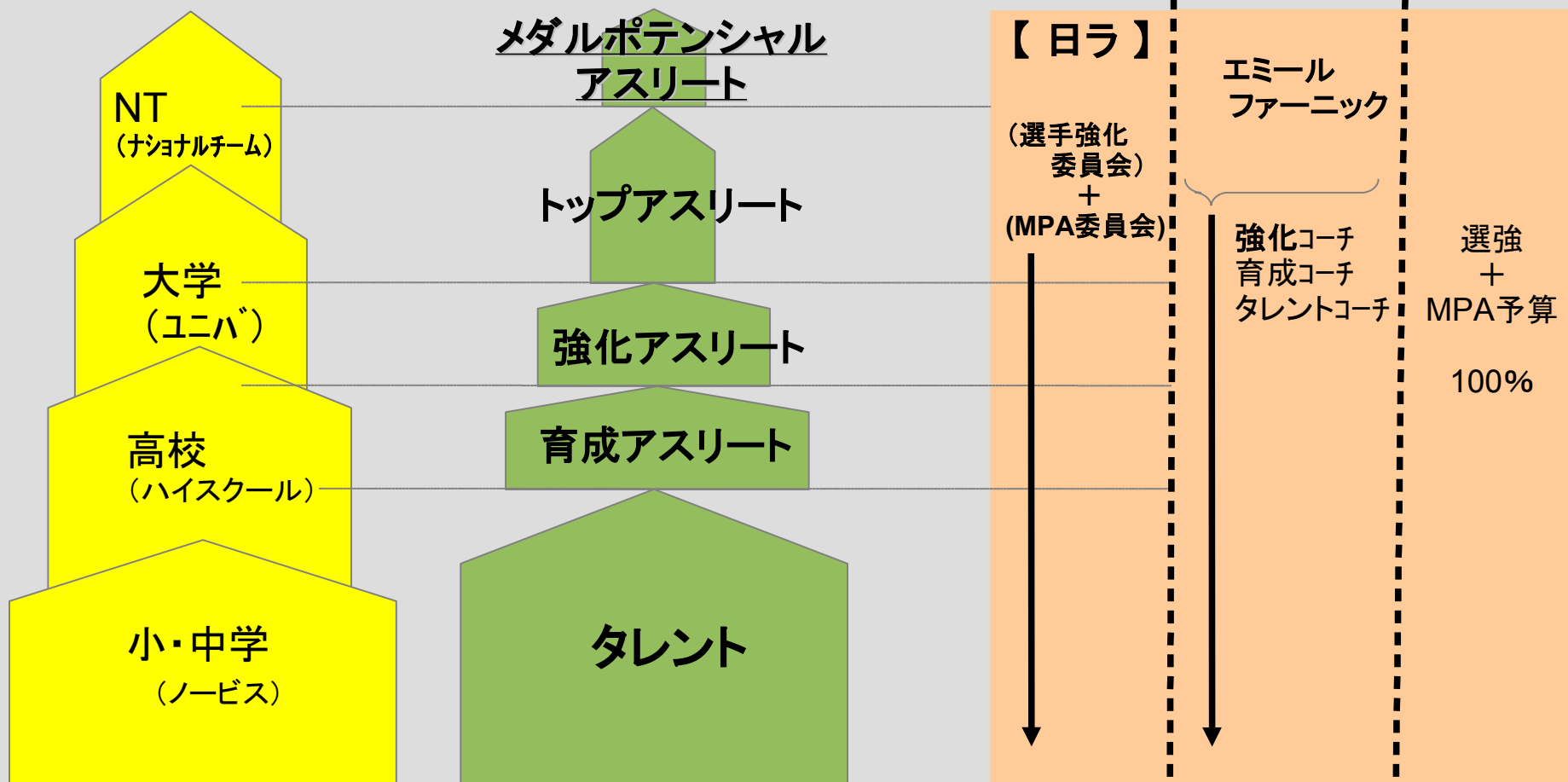


これからの選手強化の仕組み (Stage②)

(メダルポテンシャルアスリート育成システムの構築)

Stage①

Stage②で構築する
パフォーマンスパスウェイ



ナショナルチームメンバーとは

- ・ ナショナルチーム
- ・ ジュニア ナショナルチーム の要件

ナショナルチーム
(NT)

4年後のオリンピックでメダル獲得、
または入賞の可能性の有る選手

ジュニア
ナショナルチーム
(ジュニアNT)

8年後以降のオリンピックでメダル獲得、
または入賞の可能性の有る選手



ナショナルチームメンバー(NTM) = メダルポテンシャルアスリート(MPA)

ブロック強化拠点

各ブロック、各カテゴリごとに、担当コーチ・スタッフを設置

東日本
ブロック①

北海道
東北
新潟
茨城
栃木
群馬
山梨
長野

東日本
ブロック②

東京
千葉
埼玉
神奈川

中部
ブロック

静岡
愛知
三重
岐阜
富山
石川
福井

西日本
ブロック

滋賀
京都
奈良
和歌山
大坂
兵庫
中国各県
四国各県

九州
ブロック

九州各県
沖縄

これからの選手強化学業のポイント

① JOC Coaching Director

エミールコーチ (Pistol)
ファーニックコーチ (Rifle)

指導内容の共有化、統一化

指導者講習会の開催

各カテゴリ、各ブロックの強化拠点における指導を効果的に推進する。

② 「Team JAPAN Rifle」の意識を高めるために、
Rifle,Pistol,Junior、の合同合宿や海外派遣を実施する

③ 選考時にMQSを導入する

④ 年度内でも、「ナショナルチームメンバー」の入れ替えを実施する

社団法人日本ライフル射撃協会

選手強化委員会

平成25年2月